

平成 25 年 4 月 3 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大
TradeStation Securities, Inc.
William Cahill, President and COO
Monex Boom Securities (H.K.) Limited
Agatha Lo, COO

第 8 回「MONEX グローバル投資家サーベイ」実施 ～米 FRB の資産買入れ見直し時期についてコンセンサスはみられず～

2013 年 3 月に実施した第 8 回「MONEX グローバル投資家サーベイ」^(注 1)において、日本の個人投資家による今後 3 ヶ月程度の世界の株式相場に対する見通し DI^(注 2)は、前回調査時(2012 年 12 月) から +22 ポイントと 2 回連続で大幅な上昇を記録し、米国および香港の個人投資家に比べて強気ぶりが引き続き際立っていることが明らかになりました。また、米 FRB の資産買入れ見直し時期について、個人投資家の間で明確なコンセンサスは形成されていないことも示されました。

(注 1) 日本、米国および香港における調査の実施概要は次のとおりです。

	日本	米国	香港
調 査 期 間	2013 年 3 月 8 日～11 日	2013 年 3 月 1 日～11 日	2013 年 3 月 1 日～11 日
回 答 数	1,346 件	165 件	277 件

(注 2) DI (diffusion index) : 「上昇すると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

「MONEX グローバル投資家サーベイ」について

マネックス証券株式会社 (以下「マネックス証券」) は、2009 年 10 月より、個人投資家を対象として相場環境についての意識調査のアンケートを毎月実施し「MONEX 個人投資家サーベイ」として提供してまいりました。当グループにおいて、日本に加え米国および香港にも証券事業の拠点ができたことを契機に、当該個人投資家サーベイの調査対象を米国および香港にも広げ、2011 年 6 月より四半期ごとにマネックス証券、TradeStation Securities, Inc.および Monex Boom Securities (H.K.) Limited の 3 社共同で「MONEX グローバル投資家サーベイ」を実施しています。日本、米国および香港の個人投資家の相場環境についての意識を定点観測しております。

主な調査結果 ※詳細は別紙レポートをご参照ください。

(1) DI は日本株が高止まり、米国株は3ヶ月連続で改善

[調査対象：日本の個人投資家、別紙レポート グラフ 1]

【日本株 DI】(2月) 67 ポイント → (3月) 72 ポイント (前月比 +5 ポイント)

【米国株 DI】(2月) 53 ポイント → (3月) 62 ポイント (前月比 +9 ポイント)

【中国株 DI】(2月) -20 ポイント → (3月) -19 ポイント (前月比 +1 ポイント)

日本の個人投資家に聞いた地域別DIでは日本株が依然72ポイントと高水準で推移しました。米国株は2013年1月調査時から3ヶ月連続で改善しました。(1月:+21ポイント、2月:+1ポイント)。中国株はほぼ横ばいが続いています。

(2) 世界の株式相場について、日本の投資家の見通しDIは大幅上昇が続く

[調査対象：日本、米国、香港の個人投資家、別紙レポート グラフ 3]

今後3ヶ月程度の世界の株式市場に対する見通しDIについては日本の投資家の強気ぶりが引き続き際立ちました。香港でもDIは明確にプラス圏に浮上する一方、米国はやや改善するも、-5ポイントとマイナス圏にとどまりました。

(3) 今後3ヶ月程度の米ドル/円相場について、円安を見込む向きは依然7割超

[調査対象：日本の個人投資家、別紙レポート グラフ 6]

今後3ヶ月程度の米ドル/円相場の見通しについて、「円安になると思う」との回答は前回調査時(2013年2月実施)から3ポイント伸び、7割を上回りました。円高派は過去最低水準の7%となりました。

(4) 米FRBの資産買入れ見直し時期についてコンセンサスはみられず

[調査対象：日本、米国、香港の個人投資家、別紙レポート グラフ 11]

今回の調査では、米FRBが資産買入れプログラムを見直す時期について問う設問を追加したところ、いずれの地域でも回答は分かれました。日本では比較的早期に見直しが行われるとの見方が優勢だった(2014年前半までに終了すると予想する回答が70%)のに対し、香港ではその逆の傾向(2014年後半以降に終了すると予想する回答が52%)がみられました。

【お問合せ先】

マネックス証券株式会社

営業企画部 PR担当 松崎 電話 03-6667-3551